

宇都宮大学第6回東日本大震災ボランティア

宇都宮大学、災害ボランティア第6弾は

「宮城県山元町でがれき撤去や清掃活動」ボランティア



▲災害ボランティア第6弾 その1

宇都宮大学では、11月23日(水)に災害ボランティア第6弾として学生プロジェクトによる、宮城県亶理郡山元町で家屋家財の運び出しやがれきの撤去、清掃活動のボランティアを行いました。

初めは、津波により被害を受けた家屋の畳や家財道具・生活用品の全てを屋外に運び出した後、時間の経過と乾燥により固まってしまったヘドロをかき出し、それを土のうに詰める作業を行いました。その後、被害を受けていない畳・家財道具・生活用品の中から使えるものを移動し、それと同時進行で屋外に溜まっていたヘドロを土のうに詰める作業を行いました。作業終了後は、使用した道具の清掃と後片付を行い、その後現地スタッフの方から、被災地の状況などの話を伺いました。

参加した学生たちは疲れも見せず、無事に大学へ帰ってきました。